

## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 NITTOKU株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6145 URL <https://nittoku.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 笹澤 純人  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 飯野 将 (TEL) 048-615-2109  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	30,463	41.4	4,177	725.2	4,291	593.6	2,510	205.2
2025年3月期第3四半期	21,551	11.4	506	△74.6	618	△70.8	822	△39.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,836百万円( —%) 2025年3月期第3四半期 241百万円( △88.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	148.78	—
2025年3月期第3四半期	45.85	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	61,693	39,583	63.8
2025年3月期	60,415	36,603	60.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 39,344百万円 2025年3月期 36,390百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2026年3月期	—	30.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	32.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	41,000	23.2	4,600	310.9	4,600	275.4	2,600	98.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	18,098,923株	2025年3月期	18,098,923株
2026年3月期3Q	1,224,441株	2025年3月期	1,226,741株
2026年3月期3Q	16,873,595株	2025年3月期3Q	17,938,522株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(収益認識関係) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）における日本経済の情勢は、米国の関税措置を始めとする各国の通商政策等の影響はあるものの、緩和的な金融環境が下支えとなり、全体としては緩やかな成長が継続いたしました。一方、海外情勢においては、各国の通商政策が、グローバルな貿易活動や国際金融資本市場への影響等を通じて世界経済を押し下げる可能性がある中、不確実性が高い状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境においては、緩和的な金融環境が下支え要因として作用する中、人手不足対応やデジタル関連、AI関連の投資、自動車産業における電装化、安全化のための設備投資等をはじめ、製造生産システムの自動化、効率化、高品質化ニーズ等により、モビリティ業界を中心に景気低迷が続いている欧州市場を除き、設備投資は緩やかな増加傾向となりました。

当社グループは、ユーザーの生産システム全体のデザイン・構築に技術・アイデアを提供し、また生産工程全体の効率化や品質向上にも貢献する「ラインビルダー」として、ユーザーごとの固有のニーズやウォンツを実現する一貫生産ラインの提供に努めております。モビリティ業界を中心とした新たな技術革新に伴うユーザーの新規製品の自動化案件に対して、ユーザーと共に先端設備の開発を行っており、従来よりも生産設備の規模が大型化し、納期も長期化の傾向にあります。また、採用したい人材が集まる場所にテクニカルセンターを開設するなど、即戦力となる人材の確保を目的とした「サテライト戦略」により、ニッチな業界における優れた即戦力人材の確保を推進しております。

当社のグループ会社NITTOKU SINGAPORE PTE. LTD. と第一実業株式会社は、グローバルエリア戦略市場として位置付けたインドにおけるそれぞれの経営資源やノウハウを活用し、事業効率の向上及び収益の拡大、インドでの競争力や販売活動の強化等を図るため、インドにおける合弁会社設立に関する合弁契約を締結、昨年12月22日にインド現地法人の新設登記を完了いたしました。第一実業株式会社のインドにおける幅広いネットワークと販売力を活用した当社製品の販売強化と収益力の向上を目指し、4月からインド合弁会社の本格稼働を予定しております。

また、昨年12月5日に開示をさせて頂きました通り、民事再生手続中の株式会社片岡製作所の再生支援を目的として、片岡製作所との間でスポンサー支援に関する基本合意書を締結し、現在協議を進めております。

以上の状況下、当第3四半期連結累計期間においては、米国等海外向けの売上が盛況であったことに加え、新規開発要素を含む案件の割合が減少したため、売上・利益ともに前年同期比大幅に増加いたしました。

当社個別ベースでの受注高は前年同期に対し13.0%増加し、200億45百万円となりました。また個別売上高は前年同期に対し68.5%増の214億33百万円となり、個別受注残高は前年同期に対し7.8%減の222億93百万円となりました。

また、当社グループにおける連結売上高は304億63百万円（前年同期比41.4%増）、営業利益は41億77百万円（前年同期比725.2%増）、経常利益は42億91百万円（前年同期比593.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億10百万円（前年同期比205.2%増）となりました。

このような経営環境下において当社の各セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (ワインディングシステム&メカトロニクス事業)

当社グループは、搬送システム上に巻線・ハンドリング・組立・検査等の工程を搭載する技術をベースにし、独自開発のOSにより高機能多軸同期制御が可能な生産システムによるさまざまな生産ライン構築を提供することで、世界市場におけるユーザーの競争優位性の向上に資するビジネスモデルを追求しております。ユーザーごとに創出される固有のニーズやウォンツにスピーディーに対応し、ニッチな分野でのオープンイノベーションによるユーザー・サプライヤーとの協業・協創を推進する「ブラックオーシャン戦略」をグローバルに推進することによって、競合他社の参入障壁を高め、競争力及びマーケットプレゼンスの更なる向上に努めております。この成果として、半導体業界向けの検査ハンドラー、エナジーデバイス業界向けの捲回機、ロール・ツー・ロール等、コイルデバイス事業やモータ事業以外の領域が広がっております。

当社が得意とする小型で精密なコアレスモータやブラシレスDCモータを関節や指先に使用したヒューマノイドロボット用モータの開発や、地政学的リスク及び環境等に配慮したレアアースレスのセラミックモータの開発、またスマートフォンの高機能化等に対応したトリプルコイルスピーカやダブルコイルイヤホン、新型振動デバイス、VCMコイル等の新設備の開発にも努めております。

これらの結果、全売上高の約95%を占めるワインディングシステム&メカトロニクス事業におきましては、連結売

上高は289億48百万円（前年同期比43.3%増）、セグメント利益（営業利益）は45億99百万円（前年同期比370.7%増）となりました。

なお、当社個別ベースでの受注高は188億54百万円（前年同期比15.9%増）、売上高（生産高）は199億31百万円（前年同期比75.5%増）、当第3四半期末の受注残高は219億28百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

（非接触 I C タグ・カード事業）

非接触 I C カードの売上高は12億1百万円と前年同期比6.6%増、生産ライン管理用の F A タグや電池タグ等、タグの合計売上高は、半導体の需要増加等に伴い生産ライン管理用 F A タグの売上が増加したことにより、2億22百万円と前年同期比91.5%増となりました。

これらの結果、連結売上高は15億15百万円（前年同期比11.8%増）、セグメント利益（営業利益）は4億88百万円（前年同期比41.5%増）となりました。

なお、当社個別ベースでの受注高は11億91百万円（前年同期比18.7%減）、売上高（生産高）は15億1百万円（前年同期比9.8%増）、当第3四半期末の受注残高は3億65百万円（前年同期比47.2%減）となりました。

## （2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

### ①資産

流動資産は前連結会計年度末対比2億28百万円減少し、412億98百万円となりました。これは主として、現金及び預金が14億78百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が14億61百万円減少、電子記録債権が4億27百万円減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比15億7百万円増加し、203億95百万円となりました。これは主として、投資有価証券が6億99百万円増加、土地が1億47百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比12億78百万円増加し、616億93百万円となりました。

### ②負債

流動負債は前連結会計年度末対比3億60百万円減少し、159億68百万円となりました。これは主として、電子記録債務が14億86百万円増加したものの、契約負債が16億64百万円減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比13億41百万円減少し、61億42百万円となりました。これは主として、長期借入金15億98百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比17億1百万円減少し、221億10百万円となりました。

### ③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末対比29億79百万円増加し、395億83百万円となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想については本日（2026年2月13日）公表をいたしました「2026年3月期 業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,907	16,385
受取手形及び売掛金	8,147	6,686
電子記録債権	1,609	1,182
仕掛品	13,227	13,161
原材料及び貯蔵品	2,469	2,394
その他	1,238	1,507
貸倒引当金	△73	△19
流動資産合計	41,527	41,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,299	5,962
機械装置及び運搬具（純額）	1,254	1,240
土地	3,878	4,025
その他（純額）	617	933
有形固定資産合計	12,050	12,162
無形固定資産		
のれん	211	170
その他	237	272
無形固定資産合計	449	443
投資その他の資産		
投資有価証券	2,999	3,699
退職給付に係る資産	700	715
繰延税金資産	268	381
その他	2,419	2,992
投資その他の資産合計	6,387	7,789
固定資産合計	18,888	20,395
資産合計	60,415	61,693

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,496	2,051
電子記録債務	1,025	2,511
未払法人税等	185	842
契約負債	7,855	6,191
賞与引当金	748	500
1年内返済予定の長期借入金	1,966	1,748
その他	2,050	2,122
流動負債合計	16,328	15,968
固定負債		
長期借入金	6,067	4,469
退職給付に係る負債	6	15
繰延税金負債	902	1,256
その他	507	400
固定負債合計	7,483	6,142
負債合計	23,812	22,110
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,884	6,884
資本剰余金	2,562	2,589
利益剰余金	25,343	26,993
自己株式	△2,334	△2,357
株主資本合計	32,456	34,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,099	1,511
為替換算調整勘定	2,649	3,620
退職給付に係る調整累計額	183	102
その他の包括利益累計額合計	3,933	5,233
非支配株主持分	212	238
純資産合計	36,603	39,583
負債純資産合計	60,415	61,693

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	21,551	30,463
売上原価	16,054	20,921
売上総利益	5,497	9,542
販売費及び一般管理費	4,991	5,364
営業利益	506	4,177
営業外収益		
受取利息	48	30
受取配当金	54	46
為替差益	—	39
受取保険金	40	—
その他	96	100
営業外収益合計	239	216
営業外費用		
支払利息	44	64
為替差損	17	—
社葬関連費用	40	—
その他	24	39
営業外費用合計	126	103
経常利益	618	4,291
特別利益		
投資有価証券売却益	428	—
ゴルフ会員権売却益	56	—
特別利益合計	485	—
特別損失		
仲裁関連費用	—	565
特別損失合計	—	565
税金等調整前四半期純利益	1,103	3,725
法人税、住民税及び事業税	286	1,114
法人税等調整額	4	99
法人税等合計	291	1,213
四半期純利益	812	2,512
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	822	2,510



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	812	2,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△679	411
為替換算調整勘定	187	994
退職給付に係る調整額	△78	△81
その他の包括利益合計	△570	1,324
四半期包括利益	241	3,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260	3,810
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	25

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	20,196	1,355	21,551
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	20,196	1,355	21,551
セグメント利益	977	345	1,322

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,322
全社費用(注)	△816
四半期連結損益計算書の営業利益	506

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	28,948	1,515	30,463
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	28,948	1,515	30,463
セグメント利益	4,599	488	5,088

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,088
全社費用(注)	△910
四半期連結損益計算書の営業利益	4,177

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	853 百万円	902 百万円
のれんの償却額	39 百万円	40 百万円

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
日本	7,940	1,355	9,295
中国	3,504	—	3,504
アジア	2,873	—	2,873
米国	1,408	—	1,408
北中南米(米国除く)	369	—	369
ヨーロッパ	4,100	—	4,100
顧客との契約から生じる収益	20,196	1,355	21,551
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	20,196	1,355	21,551

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類をしています。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
日本	9,522	1,515	11,037
中国	5,630	—	5,630
アジア	3,100	—	3,100
米国	8,873	—	8,873
北中南米(米国除く)	84	—	84
ヨーロッパ	1,737	—	1,737
顧客との契約から生じる収益	28,948	1,515	30,463
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	28,948	1,515	30,463

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類をしています。

また、当第3四半期連結累計期間の収益の内訳について、「北中南米」に含めておりました「米国」の収益の重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より区分して表示しております。

この区分方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間について注記の組替を行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間において、「北中南米」に表示していた1,777百万円は「米国」1,408百万円、「北中南米(米国除く)」369百万円と組替しております。